

★(様式A) 通常事業評価シート【R4年度実施事業(一部) / 建設部公共建築マネジメント課による自己評価】

(単位: 千円)

No.	事業名	総合計画での位置付け (個別目標)	事業の目的 (誰をどのようにするか)	事業の手段 (今年度の主な活動結果)	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 (決算見込額)	人件費 (参考値)	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
1	歴史的景観保全支援 事業(他課への応援)	郷土の歴史や文化が引き 継がれている	住みよい文化的で潤いのある美し いまちを実現するため、歴史的ま ちなみ保全地区における家屋修景 などへの支援や景観重要建造物や 景観重要樹木への必要な支援を行 う。	岸和田市歴史的景観保全事業助成金交 付要綱による内容点検を2件実施する	5: 達成した	継続	-	2,865	2,865	民間契約が成立している取引図面での 内容点検となるが、検証のために 市で再積算できる精度の図面提出が 存在しないことや一式として計上さ れる積算項目も多く、判断が難し い。	改修面積当たりの補助額とするな ど、建物や設備のグレードに左右さ れない指標による補助額の決定が望 ましいと考える。	
2	住宅改造成業 (他課への応援)	平和で、多様な価値観が 尊重され、他者への理解 が促進し、自分らしく生 活できる環境が整ってい る	障害者の快適な生活等を支援する ため、住宅改造成業に要する経費の一 部を助成するに際し、申請内容を 点検し、担当課に対し技術的な助 言を行う。	岸和田市重度障害者等住宅改造成業補 助金交付要綱による訪問調査として、事 前調査6件、完了確認4件実施	5: 達成した	継続	-	4,298	4,298	物価高騰により、改修に要する費用 が増加傾向にある中で、従来の補助 額で、いかに効率的な改修のアドバ イスが出来るかどうか課題であると 考える。	特になし	
3	耐震化実施計画推進 事業(市有建築物)	災害などの非常時への準 備が進められ、強靱な環 境になっている	建築物の耐震化を向上させるため、 岸和田市住宅・建築物耐震改 修促進計画の企画、調整及び進行 管理を行う。	岸和田市の耐震化等への技術的相談、 協議を行う。	0: 進捗なし	継続	-	1,433	1,433	シンボルの建物や歴史的建物の耐震 化は、その特殊性からコストも上昇 しがちであるとともに、耐震化その ものが難しい場合もある。また、耐 震化によりバリアフリー化との兼ね 合いも課題と考える	特になし	
4	町会等施設整備支援 事業(他課への応援)	みんなが主役の協働・連 携したまちづくりが行わ れている	地域の自治活動を推進するため、 町会等が設置する施設整備費の一 部を助成するに際し、申請内容を 点検し、担当課に対し技術的な助 言を行う。	町会等が設置する施設整備費の助成に 関する要綱による内容点検を8件実施	5: 達成した	継続	-	2,865	2,865	民間契約が成立している取引図面での 内容点検となるが、検証のために 市で再積算できる精度の図面提出が 存在しないことや一式として計上さ れる積算項目も多く、判断が難し い。	改修面積当たりの補助額とするな ど、建物や設備のグレードに左右さ れない指標による補助額の決定が望 ましいと考える。	
5	公共建築マネジメント 課管理事務事業	持続可能で信頼される行 政になっている	課内・部内の円滑な運営を遂行す るため、庶務全般を効率的に行 う。	電子回覧の実施など、紙文書の削減と 効率的な庶務を行った	5: 達成した	継続	1,458	17,532	18,990	文書管理、財務会計、電子決裁など のシステム間の連携が悪い。また検 索、訂正作業などがやりにくく、煩 雑な作業となっている。	各種システムの機能向上が望まれ る。	
6	分任事業(複数課か らの予算再配当事 務)	持続可能で信頼される行 政になっている	市有建築物の適切な運用を図るた め、分任元の課からの依頼に基づ き、調査設計、施工及び検査を行 うとともに、市有建築物及び諸設 備の維持保全作業を行う	分任元の課からの依頼に基づき、調査 設計、施工及び検査を行い、市有建 築物及び諸設備の維持保全作業を 実施した	5: 達成した	継続	1,334,714	59,453	1,394,167	電子決裁システムを導入しているに も関わらず、変更契約等の決裁や 支払書類の作成は紙文書が必要 など、システムを効果的に活用でき ない。	各種システムの機能向上が望まれ る。	
7	公共施設適正配置事 業	持続可能で信頼される行 政になっている	利用しやすい施設と効率的・効果 的な施設配置を実現するため、公 共施設の適正配置を推進する。	公共施設の再配置の推進のため、関係 各課と協議を行う。	0: 進捗なし	継続	65	12,535	12,600	適正配置に係る施設所管課との協議 が円滑に進まず、個別施設計画の策 定、施設廃止が円滑に進んでいな い。	庁内検討委員会体制を見直し、適正 配置に係る協議、意思決定スキーム を確立する。	
8	公共施設管理事業	持続可能で信頼される行 政になっている	公共施設の施設機能を保持するた め、施設を適正に管理する。	市有建築物の定期点検を行い、老朽化 所や危険個所の把握を行うとともに、 施設管理者へ周知、工事優先順位付 け等を行う	0: 進捗なし	継続	5,193	9,312	14,505	公共施設の保有量に対し十分な予算 確保ができず、修繕等も先送りされ ることが多い。 また、限られた予算、人員の中で、 危険個所を把握し、工事優先順位付 けを実施し、施設機能保持に努めて いるが、老朽化に対して修繕が追 いついていない。	保全に必要なコストを再試算し、施 設機能保持に係る予算を優先して確 保できるように財務部と調整を行 う。	